

令和 7 年度 第 1 回 鏡野町立中学校部活動地域連携検討委員会（概要）

日時 令和 7 年 6 月 25 日（水）

18:30～20:30

検討委員・事務局の自己紹介後、委嘱状を交付し、新年度最初の協議を行った。

1 国・県の動向について

5 月に報告された「部活動改革に関する実行会議の最終とりまとめ」の概略を報告した。「地域展開」への名称変更、令和 8 年度から 6 年間の「改革実行期間」の設定、その期間内での休日の地域移行の実現をめざす方向性等が示されている。

2 令和 7 年度の中学校の部活動の現状について

現在の鏡野中学校の部活動所属者数や「部活動指導員」「外部指導者」等、指導者の状況を示し、中学校から現状や課題を報告した。委員からは「部活動指導員」の配置について質問があり、事務局からは、各部 1 名の「部活動指導員」の配置をめざしていることを伝えた。

3 令和 6 年度までの取組の経過について

現在までの取組の経過報告後、2 月の会で定めた今後の方針を再確認した。指導者の確保、運営費用、活動場所への移動等、課題はあるが、令和 8 年度末の休日における地域移行・地域連携、令和 12 年度末の平日の地域移行をめざして、地域の指導者を中心とした指導体制づくりを進めていく。

4 令和 7 年度を取組について

現在、2 つの部で行っている地域移行モデル事業を他の部に拡大していくこと、指導者の更なる確保、現在の指導者への今後の協力依頼等、令和 9 年度の休日の移行・連携に向けた体制づくりを進めていくことや、「地域クラブ」の認定要件の策定や指導者の研修体制の整備、また、取組を加速するための民間も含めた情報収集や小中学校への説明等、具体的な取組方針を定めた。先進地域の取組を参考として運営費を確保する方策も探りたい。委員からは「地域クラブ」という言葉があいまいでわかりづらいという意見や、地域移行のためには小学校で現在行っているスポ少の活動を中学校段階で広げていく視点をもってはどうかという意見などもいただいた。また、文化系部活動についても中学校と連携して、部員のニーズを把握し、少しずつ連携を進めていきたい。